



特定非営利活動法人
ブラウブリッツ秋田スポーツネットワーク

ブラウブリッツ秋田スポーツネットワーク 令和5年度活動報告



◆ クラブ理念 ◆

誰もが気軽にスポーツを楽しめるような環境が整って、はじめて豊かなスポーツ文化は育まれます。

年齢・性別・障害に関係なく、スポーツを楽しめる環境が側にあれば「いつでも」「どこでも」「いつまでも」心も体も健康で、豊かな生活を送ることができます。

スポーツを通じて秋田のスポーツ文化の基盤的役割を担うと共に「街づくり・人づくり・夢づくり」に貢献していきます。

- P.02 目次
- P.03 ご挨拶
- P.04～6 バレーボール活動報告
- P.07～8 サッカースクール活動報告
- P.09 運動神経向上スクール活動報告
- P.10～11 スキースクール活動報告
- P.12～14 その他活動について
- P.15 年間予算と実績
- P.16 スポンサーおよび正会員一覧
- P.17 法人概要



◆ 代表理事 挨拶 ◆

目まぐるしい社会の変化とともに、子どもたちを取り巻く環境も日々変わりつつあります。中学校の部活動移行が政府から発表され、スポーツ環境も大きく変化しようとしています。これまでは、教育現場に依存し教職員の皆様には大きな負担が生じておりました。一方で、学校教育だからこそ普段の生活も含め子どもたちに寄り添いながら文部において教育・指導ができたからこそその強みもあります。

当法人では、子どもたちが好きなスポーツをいつの時代でも安心して優れた指導者のもと取り組むことができるよう、これまで尽力いただいた教育機関の皆様と共に新しい形を、それぞれの競技や地域に応じて構築していきたいと思っています。

また、未だスポーツ現場における体罰や暴言等のニュースが見受けられます。当法人が毎年開催しております監督が怒ってはいけない大会は、だれもが、いつでも、どこでも、安全に、安心してスポーツを楽しめる環境を広げる活動の一つだと捉えております。子どもたちがそれぞれのスポーツを好きという気持ちを大切に育み、生涯にわたってスポーツを楽しみながら健やかに逞しく成長していけるよう、より良いスポーツ環境の整備に取り組んで参ります。引き続きご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人ブラブリッツ秋田スポーツネットワーク

代表理事 岩瀬 浩介

◆ バレーボールスクール活動報告 ◆

ブラウブリッツ秋田バレーボールスクールでは、子ども達の「バレーボールが好き」という気持ちを大切に、考える力や人を尊重する気持ちを育てています。

勝つことだけを追求するのではなく、ゲームをすることの楽しさや、選手同士の交流をはかり、他者を尊重する心を育んでいます。

小学生から高校生まで同じコートで楽しくバレーボールに打ち込んでおり、小学生はこまちカップや一関でのフレンドリー大会に参加し、日ごろの練習の成果を試しました。
2024年度からはスポ少登録も行います。



曜日	練習	会場
月	プレ アカデミー	桜コミュニティセンター
火	スクール 中学生以上女子優先練習	土崎南小学校 檜山コミュニティセンター
水	スクール	旭北コミュニティセンター
木	スクール アカデミー	寺内コミュニティセンター 港北小学校
金	スクール	西部市民センター
土	ビーチ アカデミー	浜田浜海水浴場 寺内コミュニティセンター
日	ビーチ スクール・アカデミー	浜田浜海水浴場 桜コミュニティセンター



＜スクール所属人数＞（ ）は前年比

高校生:2名(±0)
中学生:28名(+5)
小学生:62名(+32)

＜スクール生居住地＞

秋田市:72名
南秋田郡:7名
能代市:3名
由利本荘市:3名
にかほ市:2名
大仙市:2名
潟上市:1名
湯沢市:1名
大館市:1名

◆ ビーチバレー活動報告 ◆

小学生から高校生までの子ども達がビーチバレーを練習することができる秋田県唯一のスクールです。

秋田県ではまだ馴染みの薄いビーチバレーを普及するため、4月から10月に活動をしています。

室内でのスクールに通う選手やアカデミーの選手も練習に参加し、砂浜で足腰を鍛えながら、個人のレベルアップを図っています。

中学生の選手は夏休みに全国大会への出場、高校生は国体の秋田県代表を目指し、県大会に出場しています。
また、2023年度は当クラブ所属の選手が秋田県代表として国体に出場しました。



◆国体予選◆

高橋・若松ペア:優勝

└秋田県代表として鹿児島国体に出場

藤原・平元ペア:準優勝

◆マドンナカップ◆全国大会

高橋・本間ペア:初戦敗退

◆湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会◆

<男子チーム>

予選グループ:2位

決勝トーナメント:初戦敗退

<女子チーム>

予選グループ:2位

決勝トーナメント:3位



<ビーチアカデミー所属人数>

高校3年生:4名

高校2年生:3名

高校1年生:3名

※中学生以下はスクール生が参加

<選手居住地>

秋田市:6名

横手市:4名

◆ バレーボールアカデミー報告 ◆

バレーボールアカデミーは自身の通う中学校にバレーボール部のない子ども達が、中学に進んでもバレーボールが続けられるようにという思いのもと、設立しました。

高校、大学、その先でも通用するバレーボーラーになることを目指して、中学1年生～3年生まで14名が所属し、自身が通う中学校の垣根を越えて活動しています。

発足3年目を迎えた2023年度では2年連続全国大会出場に加えて、初めて中総体にも出場しました。また、キャプテンを務めた小林咲太郎選手は秋田県の選抜チームにクラブとして初めて選出されました。

【大会結果】

- ・秋田市冬季大会 準優勝
- ・全県中学校冬季大会 優勝
- ・第28回秋田グリーンライオンズカップ中学校バレーボール大会 準優勝
- ・第3回JCRカップヤング選手権交流リーグ 優勝
- ・第44回秋田青森二県選抜中学校親善バレーボール大会 準優勝
- ・令和5年度 秋田市中学校総合体育大会バレーボール大会 準優勝
- ・令和5年度 秋田県中学校総合体育大会バレーボール大会 2回戦
- ・第26回全国ヤングクラブ優勝大会 全国大会出場
- ・秋田県中学校秋嶺バレーボール大会 優勝



＜アカデミー所属人数＞

中学3年生:9名
中学2年生:6名
中学1年生:4名

＜選手居住地＞

秋田市:16名
潟上市:2名
大仙市:1名

◆ サッカースクール報告 ◆

サッカースクールではサッカーや身体を動かすことの楽しさを伝え、チームスポーツを通じて仲間を大切にする『こころの成長』をテーマに指導しています。

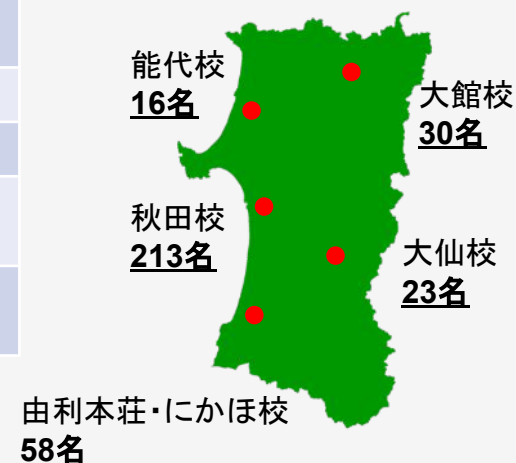
秋田市、大館市、由利本荘市、にかほ市、能代市、大仙市と県内6か所でスクールを展開しています。

ブラウブリッツ秋田でサッカーを始める選手も多く、その日の練習で1つでも多くの技術を習得し、サッカーを好きになることを目的に行っています。ドリブルやシュートなど試合で活躍できる喜びを体感し、身体を動かすことを楽しんでもらえるようにスタッフ一同指導に尽力しています。



曜日	実施スクール
月	秋田校 大館校 由利本荘/にかほ校
火	秋田校
水	秋田校
木	秋田校 能代校
金	秋田校 大仙校

5拠点 340名
前年比 +31名



◆ サッカースクール実施イベント ◆

スペシャルクラス

スペシャルクラスとはスクール生の中からセレクションを合格した選手のみが参加できるクラスです。

アカデミーコーチによる普段のスクールよりも高度なトレーニングを行ったり、クラブが主催の大会や、他 J クラブとの交流戦を実施しています。

スクールからアカデミーに入団する選手も数多く所属しているクラスです。

2023年度はモンテディオ山形、水戸ホーリーホックなどと交流戦を実施しました。



県内でサッカー体験会の開催

新たにサッカーに触れ合ってもらうため、由利本荘市、能代市、大館市にてサッカー体験会を実施しました。

大館の体験会では地域のサッカー人口を増やすことを目的にBTO、ACU、比内の3チームと合同でサッカー体験会を実施するとともにトップチーム栄養士による子供向けの栄養講習会も実施しました。



GKスクール

県内でGKの指導者がいないスポーツ少年団もあることから、月に数回GK練習に特化したスクールを実施しています。秋田県は他県に比べ、体格的に優れた選手が多く、ブラウブリッツ秋田のアカデミーにはU-15日本代表候補に選ばれた選手がいます。

未来のプロのGKを夢見る選手たちの力になれるよう、今後とも活動をしていきます。



JA共済presents キッズキャラバン

県内の各保育園・幼稚園に巡回教室を開催。

秋田市はもちろん、能代市、にかほ市、由利本荘市、潟上市でも開催し、37園で74回の実施を行いました。

スケジュールが合う際にはブラウゴンと一緒に参加し、今年度は延べ約1,700名の子どもたちと一緒にサッカーをすることができました。



◆ 運動神経向上スクール報告 ◆

運動神経向上スクールでは、運動遊びを通じて、子ども達の自由な発想で体を動かすことや、友達と協力して目標達成することなど、社会性を育める場の提供を行っています。

将来どの競技を選択しても困らない身体の土台づくりを目指して、子ども達の可能性を広げていきます。

立ち上げ2年目となった今年度は前年比で約 50名ほど会員を増やし、運動神経向上スクールを経由してサッカーやバレーボールを始める子も増えています。

「かけっこで1番になった」「縄跳びが飛べるようになった」などうれしいお声も多数いただくようになりました。

また、保育園や企業での運動指導も回数を増やしています。



3拠点 127名

前年比 +48名

北秋田校

幼児 : 17名

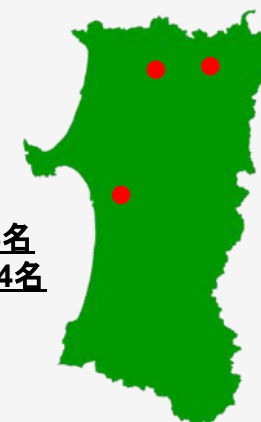
小学生 : 24名

曜日	実施スクール
月	大館校
火	北秋田校
水	秋田校
金	北秋田校
日	秋田校

秋田校

幼児 : 33名

小学生 : 24名



大館校

幼児 : 8名

小学生 : 19名

◆ スキースクール報告 ◆

雪国である秋田県には田沢湖や森吉など有数のスキー場が多数あります。

しかしながら、少子化が進むにつれてスキー人口は年々減少しており、かつて小学校で行われていたスキーの授業も今では県北や県南の一部地域のみになっています。

当スクールはそういったスキー人口が減少していく現状に少しでも歯止めがかけられればという思いで立ち上げました。

2024年度はスキー場のオープン時期が通常期よりも短い期間となっておりましたが、延べ約0名のお子様にご参加いただきました。

また、スクールを立ち上げるにあたりOrbray株式会社に協賛をいただき、社員のご家族向けのスキー教室も実施しました。12ページに記載された「わくわくキャンプ」を通じてスキーを始める子もあり、今後もスキーの普及に向けて活動を続けていきます。

【会場】横手市天下森スキー場

【期間】2024年1月13日(土)～2024年2月12日(月祝)

※スキー場のオープン期間にあわせて開催。

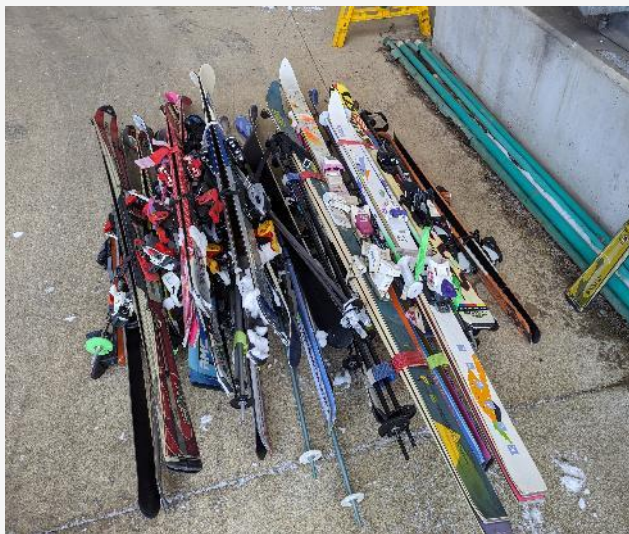
雪不足やクラブハウスの改装などにより今年度は期間が短くなりました。



◆ おさがり事業について ◆

子どもがスキーを始めるにあたり、一番の家庭の負担となるのが用具代でした。
身長に合わせて選ぶ用具は、子どもの成長につれてすぐにサイズアウトしてしまいます。
少しでも家庭の経済的負担を軽減し、気軽にウィンタースポーツが始められるように、ブラウブリッツ秋田ではおさがり事業を行いました。
これは家庭で不要となったスキー用具を回収し、メンテナンスを行ったうえで用具を持っていない子どもたちに無料で貸し出し、ウィンタースポーツに触れていただくという事業です。
SKI MEDHIC SUGAWARA(秋田市)、よつやドライクリーニング(秋田市)、グリーンスタジアムよこて(横手市)、湯沢総合体育館(湯沢市)などで回収を行い、900を超えるスキー用具が集まりました。

＜回収した用具＞ 合計 908点
【秋田市】286点 【横手市】295点 【湯沢市】327点



メンテナンスの様子

◆ わくわくキャンプ ◆

8月・1月・3月開催

小学校の長期休暇を利用し、集団での自然体験やモノづくりの体験を通じて子供たちの自主性や協調性を伸ばすことを目的としてわくわくキャンプを実施しています。

2023年度は夏と冬は田沢湖で実施。夏は湖水浴と農業体験、冬はスキーを行いました。

春のキャンプでは岩手県の盛岡市と雫石町に行き、小岩井農場内の見学やキーホルダー製作、ハンカチの藍染、お皿の絵付けなど様々なモノづくりなどを体験しました。

1回のキャンプでは40~50名ほどのお子様に参加をいただきますが、このキャンプで初めて親元を離れて宿泊をする子供たちも多くいます。キャンプでの友達との集団生活を通じて「自分のことは自分でやるようになった」、「家でもお手伝いをしてくれるようになった」というお子さんの成長についてのご感想をいただいております。

様々な体験を通じて子どもたちの成長を促していけるように、ブラウブリッツ秋田ではこれからもわくわくキャンプだけでなく、様々な活動を実施していきます。



◆ 監督が怒ってはいけない大会 ◆

本大会はバレーボール元日本代表の益子直美さんが中心となり、子どもたちがスポーツを最大限楽しむことや、子どもたちに対する指導現場からの暴言・暴力・体罰の根絶を目的に3年前から行われている大会となります。秋田県ではバレーボール大会は昨年に引き続き3年連続での開催となりました。

当日は益子直美さんはもちろん、秋田市出身でバレーボール女子日本代表としても活躍された藤井美弥(旧姓:佐藤美弥)さんにもスペシャルゲストとしてお越しいただき、トークショーやバレーボール教室、じゃんけん大会などで大会を盛り上げていただきました。

また、アスリートの社会貢献活動を支援しているHEROSからも竹村幸さん(元競泳選手)杉山美沙さん(元アーティスティックスイミング日本代表)、勅使川原郁恵さん(元ショートトラックスピードスケート日本代表)などにもご参加いただきました。

「参加する子供たちが最大限に楽しむこと」「監督(監督、コーチ、保護者)が怒らないこと」「子どもたちも監督もチャレンジすること」の3つの理念をもとに、大会を通じて少しでも小学生のスポーツ環境が良くなり、明るく、輝く未来に向かうことを願っています。



◆ NEC RED ROCKETSバレーボール 教室 ◆

◆NECロケッツバレーボール教室とは◆

V・プレミアリーグに所属する男子バレーボールチーム「NECブルーロケッツ」ならびにV.LEAGUE DIVISION1 WOMENに所属する「NECレッドロケッツ」を運営しているNEC株式会社様が中心となっていく、バレーボール教室です。

平成24年度から活動をはじめ、北海道から沖縄県まで全国50以上の都市で開催され、秋田県では今回が初の開催となります。この活動はNECロケッツの地域貢献の一つとして実施しており、現役ならびにOB・OG選手がバレーボールに励む子どもたちを直接指導し、バレーボールの競技力向上と普及・活性化を図ることを目的に行っています。



今年度は12月に美郷町総合体育館リリオスにて開催しました。

昨年は秋田市内の6年生を対象として開催しましたが、より県内でのバレーボールの普及を目的に秋田県内の小学生を対象として実施しました。

スポーツ少年団に通っている子から初めてバレーボールを触る子まで88名のお子様に参加いただきました。このイベントをきっかけに当クラブでバレーボールを続ける子も多く、今後も県内のバレーボールの普及に向けて活動を続けて参ります。

◆ R5実績 ◆

①経常収益

科 目	予算	実績	差額
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	800,000	560,000	△ 240,000
2. 受取助成金等			
受取民間助成金	1,169,700	450,985	△ 718,715
3. 事業収益			
普及事業	27,270,500	31,765,247	4,494,747
会費	23,572,000	28,211,535	4,639,535
GKスクール会費	540,000	297,500	△ 242,500
SPスクール会費	960,000	945,500	△ 14,500
SPスクール遠征・大会参加費	690,000	661,656	△ 28,344
ウェア代回収	1,508,500	1,649,056	140,556
育成事業	4,362,000	5,026,125	664,125
育成会費	2,000,000	2,207,040	207,040
育成遠征・大会関連	2,200,000	2,644,395	444,395
育成ウェア	112,000	174,690	62,690
企画・運営事業	3,500,000	3,951,116	451,116
指導者派遣事業	400,000	1,367,110	967,110
その他の事業	1,100,000	1,980,000	880,000
4. その他収益			
受取利息		108	108
雑収益		88,170	88,170
経常収益計	38,602,200	45,188,861	6,586,661

③経常外収益と費用

科 目	予算	実績	差額
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	81,600	211,900	293,500
当期正味財産増減額	113,355	△ 114,697	△ 391,252
前期繰越正味財産額	1,031,728	1,031,728	2,063,456
次期繰越正味財産額	1,145,083	917,031	1,672,204

②経常費用

科 目	予算	実績	差額
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
指導者報酬	17,665,000	14,571,000	△ 3,094,000
サポート指導者謝礼	2,100,000	2,360,850	260,850
人件費計	19,765,000	16,931,850	△ 2,833,150
(2)その他事業費			
広告宣伝費	250,000	390,710	140,710
旅費交通費	1,300,000	959,917	△ 340,083
通信費	1,130,000	1,063,359	△ 66,641
事務用品費	7,000	0	△ 7,000
消耗品費	200,000	39,553	△ 160,447
用具費	240,000	501,570	261,570
会場費	910,000	801,374	△ 108,626
業務委託費	0	66,000	66,000
賃借料	700,000	1,246,950	546,950
減価償却費	2,000,000	2,000,000	0
雑費	276,000	663,734	387,734
ウェア卸代	1,203,745	1,747,299	543,554
支払手数料	390,000	566,226	176,226
遠征・大会関連費	2,750,000	3,827,175	1,077,175
企画・運営事業費	2,000,000	3,214,633	1,214,633
指導者ウェア費	30,000	2,050	△ 27,950
その他事業費計	13,386,745	17,090,550	3,703,805
事業費計	33,151,745	34,022,400	870,655
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	4,500,000	9,833,532	5,333,532
人件費計	4,500,000	9,833,532	5,333,532
(2)その他管理費			
旅費交通費	300	75,510	75,210
通信費	200,000	226,109	26,109
事務用品費	10,000	4,303	△ 5,697
備品費	3,000	0	△ 3,000
消耗品費	50,000	0	△ 50,000
支払手数料	15,000	96,899	81,899
租税公課	27,200	372,200	345,000
雑費	450,000	460,705	10,705
その他管理費計	755,500	1,235,726	480,226
管理費計	5,255,500	11,069,258	5,813,758
経常費用計	38,407,245	45,091,658	6,684,413
当期経常増減額	194,955	97,203	△ 97,752

◆ スポンサーおよび正会員 一覧 ◆

<プラチナ会員>



中田建設(株)

<ゴールド会員>



男鹿清掃興業(株)

<ブロンズ会員>

株式会社サンエスコミュニティ

<スキースクールパートナー>



Orbray(株)



<正会員(法人)一覧>

玉木デンタルクリニック／(株)あけぼのミライズ

山二建設資材株式会社／秋田県信用組合

(株)甲設計事務所／(有)アキタエージェンシー

(有)ジェイ・サポート／(株)ブラウブリッツ秋田

遠藤装建

<正会員(個人)一覧>

岩瀬 浩介／加藤 芳樹／堀井 郁夫／船木 崇平／外山 新

平



◆ 概要 ◆

特定非営利活動法人 ブラウブリッツ秋田スポーツネットワーク

名 称：特定非営利活動法人ブラウブリッツ秋田スポーツネットワーク

設 立：2021年10月4日

住 所：〒010-0951 秋田県秋田市山王三丁目1-7東カンビル

(株)ブラウブリッツ秋田内

代表理事(理事長)：岩瀬 浩介

副理事長：清水 毅彦

理 事：堀井 郁夫／小野 隆一郎／遠藤 弘隆／舩木 崇平／加藤 芳樹

監 事：吉田谷 昭仁／外山 新平